

# やまなしグリーン・ゾーン認証

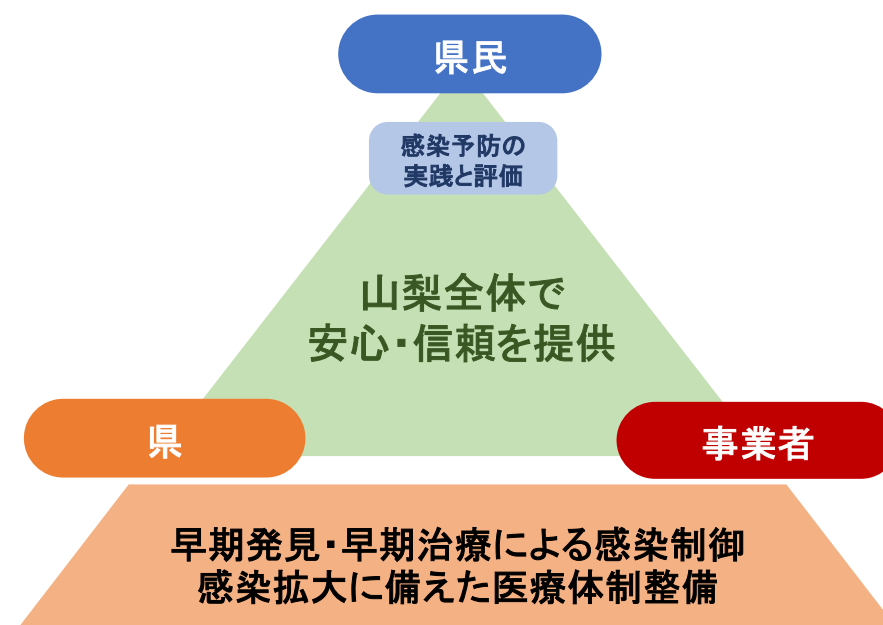
令和3年9月6日  
山梨県グリーン・ゾーン推進課



## やまなしグリーン・ゾーン構想

### やまなしグリーン・ゾーン構想とは

山梨県は、将来、未知の感染症への対応を余儀なくされる場合にも、県民の生命と経済を両立しながら不断に前進し続けることができる「超感染症社会」への脱皮を目指すための「やまなしグリーン・ゾーン構想」を提唱（令和2年5月）



経済活動を止めずに、安心して生活できる感染症に強い社会

## やまなしグリーン・ゾーン認証制度

### グリーン・ゾーン認証とは

山梨全体で安心・信頼を提供することをテーマとして、山梨県が施設を現地調査し、感染症対策の実施状況を認証する、県独自の制度。

対象は、宿泊業・飲食業でスタートし、ワイナリー・酒蔵等を追加。

#### 【申請から認証までの流れ】



申請

山梨県による  
現地調査



認証

このマークが「安心」の目印です。/



「安心・信頼」という価値を獲得し、県内経済の再生へ

## やまなしグリーン・ゾーン認証 4大要素

### 1 基準

30～50項目の感染症対策基準

### 2 現地調査

1軒1軒の訪問による指導・確認

### 3 県による認証

安心・安全の公的なお墨付き

### 4 情報開示・利用者評価

利用者評価に基づく再調査等により、認証の質を担保

＼このマークが「安心」の目印です。／



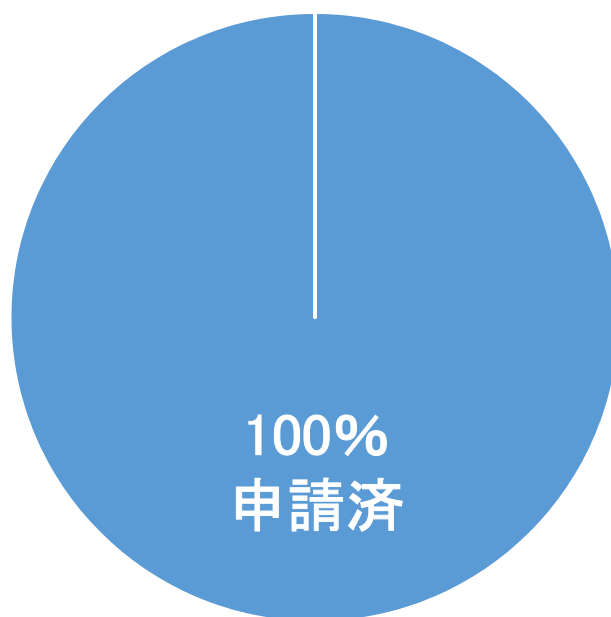
公的認証の全国先駆け リスクを取って県が安心を提供

## やまなしグリーン・ゾーン申請件数

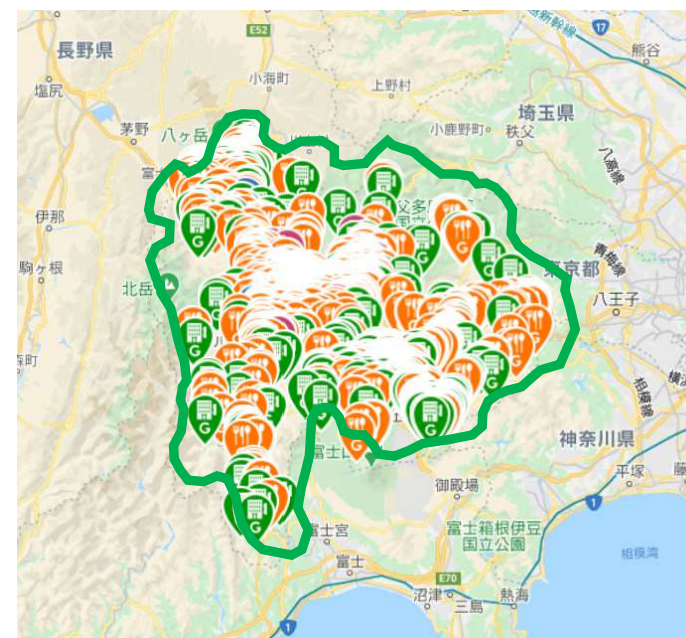
(※9/6時点)

申請件数：**6,055**件(宿泊業**1,278**件、飲食業**4,777**件)

H28経済センサス5,735件



専用ウェブサイト施設アイコン



県全域に安心・安全な認証施設が普及

→ 次ページ(GZの道程)

# やまなしグリーン・ゾーンの道程

R2

R3

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

①休業要請

R3.2.12個別解除 → やまなしグリーン・ゾーン認証施設への移行

②認証制度

GZ認証制度

③認証取得支援

各種助成制度(機器購入支援金、設備改修補助金 等)

④優遇策

Go to トラベル

GZ宿泊割り

Go to イート

⑤認知拡大の取り組み

専用webサイト



GZ大型観光キャンペーン

超感染症社会への脱皮

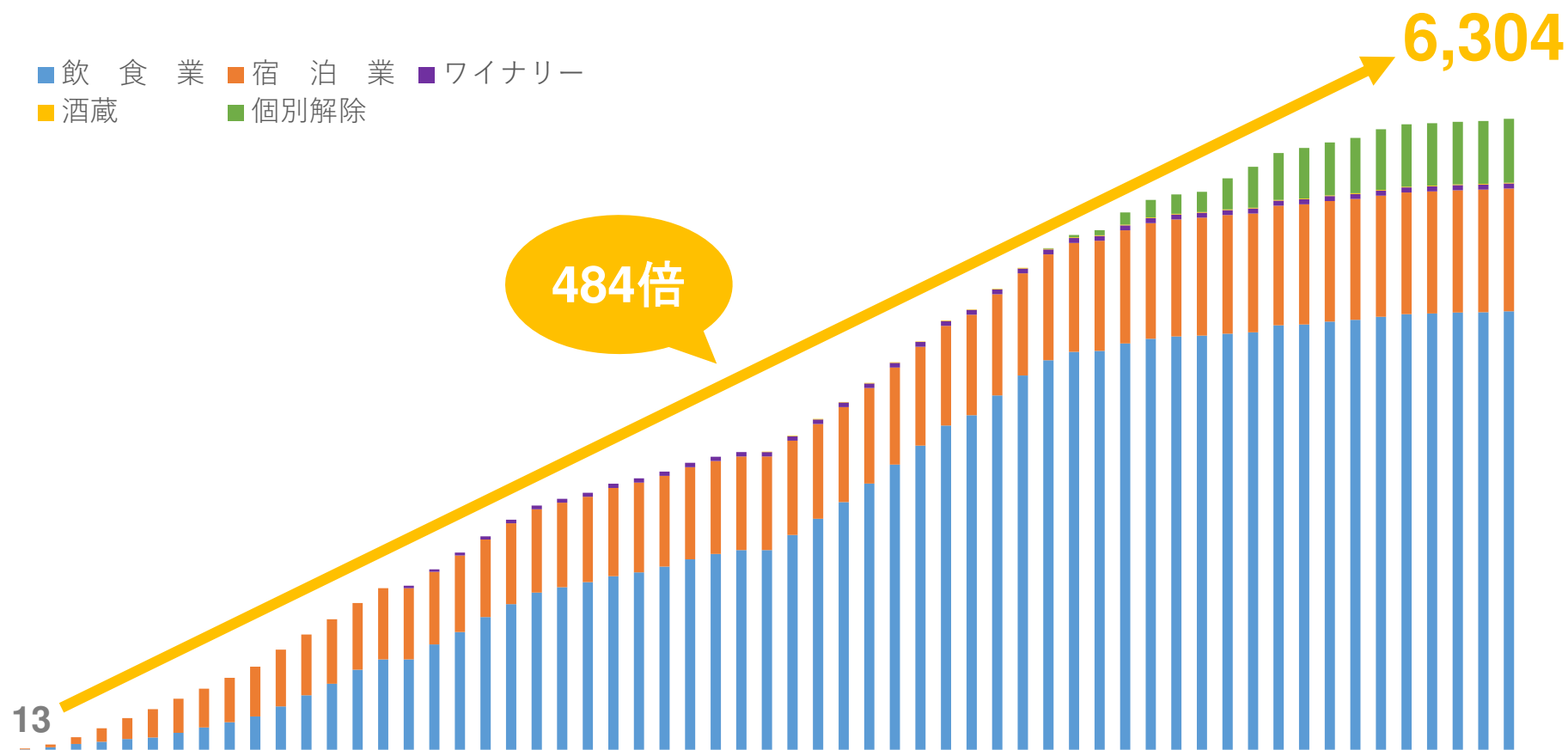
with/afterコロナ社会を見据えた未来への投資

# やまなしグリーン・ゾーン認証件数

(※9/6時点)

認証件数: **6,304**件

(宿泊業1,228件、飲食業4,379件、ワイナリー51件、酒蔵7件、移行施設639件)



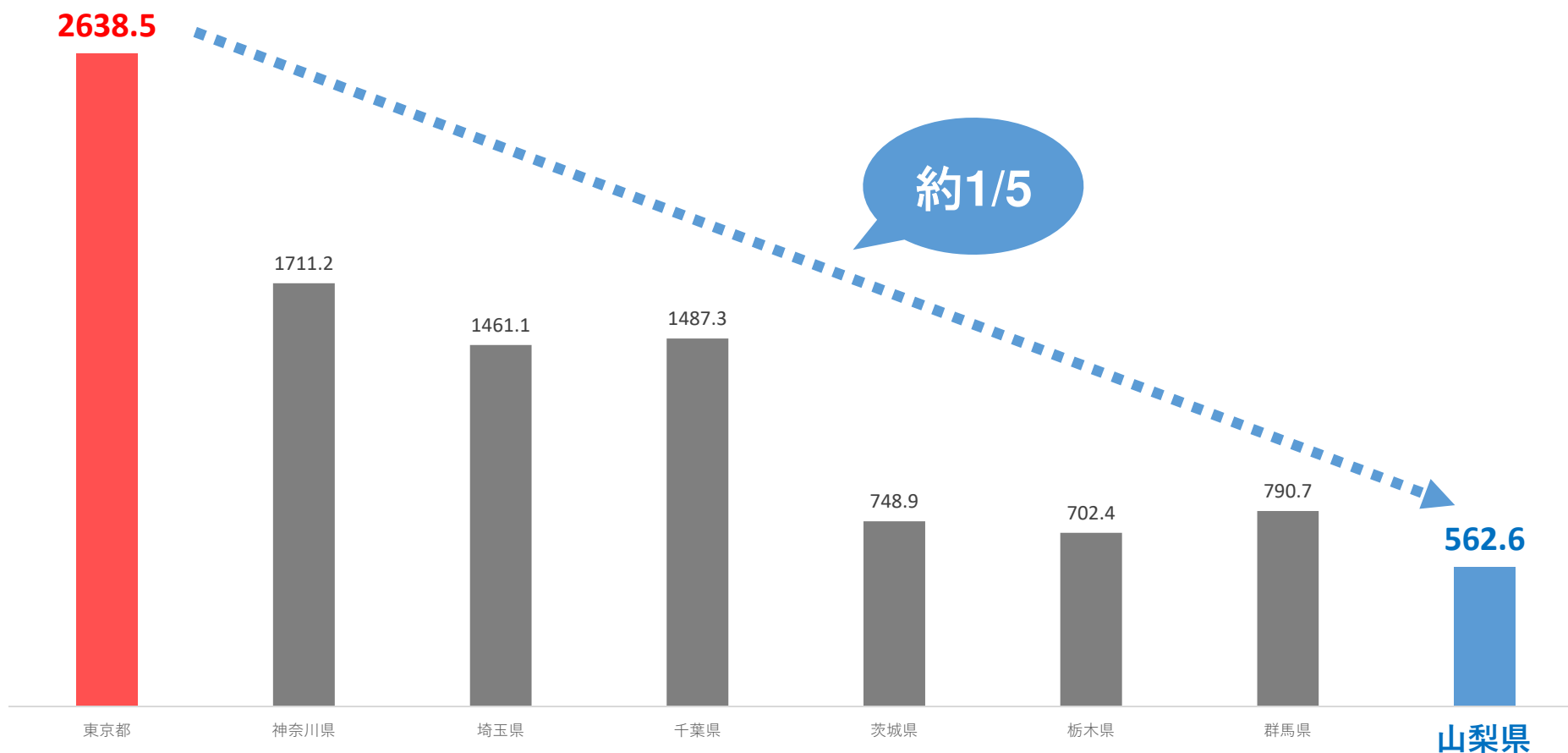
1年間で6,300件以上の現地調査・指導・認証

→ 次ページ(抑制効果データ①)

# 【抑制効果データ①】 人口10万人あたりの感染者数(首都圏比較)

(※9/6時点)

## 【累計陽性者数】



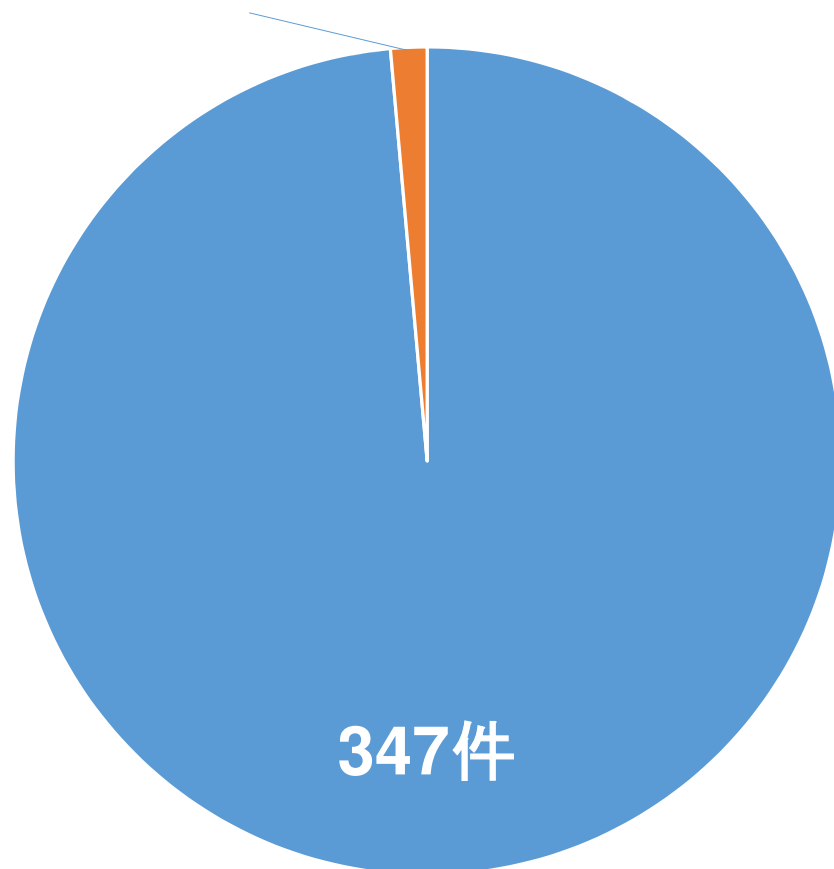
東京に接していながらも、感染拡大の封じ込めに成功



## 【抑制効果データ②】 認証施設内での感染

(※9/6時点)

クラスター数5件  
1.4%



### 【認証施設における感染連鎖数】

感染者利用・従事数 347件

感染連鎖数 15件(※)

うちクラスター数 5件

※このほか前後の行動歴があるため、認証施設内での感染連鎖とは断定できないものが12件。

認証施設でのクラスターは、わずか1%

## 【経済効果データ①】 飲食店に対する支援・閲覧状況

	山梨県	1都3県
<b>① 支援費用</b> (R3.3.31まで1店舗あたり)	GZ認証事務・ 補助金・支援金等  <b>2,380,000円</b>	協力金のみ総額  4,380,000 ～ 7,380,000円
<b>② 飲食店情報の閲覧数</b> (21.4月第1週・19.4月同週比較)  ※V-RESASより	<b>▲15.7%</b>	<b>▲29.4% ～</b> <b>▲45.0%</b>

最小限の費用で感染抑制・経済を両立

## 【経済効果データ②】 全国の倒産件数について

都道府県別

(単位：件)

都道府県	2000件時 件数	企業数	破綻 比率	破綻 比率順位	都道府県	2000件時 件数	企業数	破綻 比率	破綻 比率順位
北海道	74	141,669	0.052%	(18)	滋賀県	14	34,667	0.040%	(27)
青森県	19	39,867	0.048%	(20)	京都府	35	79,214	0.044%	(22)
岩手県	14	37,306	0.038%	(30)	大阪府	212	271,936	0.078%	(3)
宮城県	32	59,458	0.054%	(15)	兵庫県	84	145,054	0.058%	(12)
秋田県	5	33,126	0.015%	(46)	奈良県	14	31,557	0.044%	(21)
山形県	26	38,790	0.064%	(9)	和歌山県	9	34,394	0.026%	(42)
福島県	18	58,708	0.031%	(38)	鳥取県	4	16,088	0.025%	(44)
茨城県	34	79,542	0.043%	(23)	島根県	12	22,191	0.054%	(14)
栃木県	43	60,157	0.071%	(4)	岡山県	22	52,472	0.042%	(24)
群馬県	33	65,007	0.051%	(19)	広島県	57	83,126	0.069%	(6)
埼玉県	59	161,613	0.037%	(33)	山口県	16	38,987	0.041%	(26)
千葉県	43	121,018	0.036%	(34)	徳島県	10	25,369	0.039%	(29)
東京都	466	417,988	0.111%	(1)	香川県	25	30,935	0.081%	(2)
神奈川県	100	188,015	0.053%	(17)	愛媛県	16	43,577	0.037%	(32)
新潟県	24	76,279	0.031%	(36)	高知県	10	25,025	0.040%	(28)
山梨県	4	30,715	0.013%	(47)	福岡県	87	135,389	0.064%	(10)
長野県	23	73,325	0.031%	(37)	佐賀県	17	24,459	0.070%	(5)
岐阜県	19	70,820	0.027%	(41)	長崎県	12	41,846	0.029%	(40)
静岡県	64	120,024	0.053%	(16)	熊本県	27	47,877	0.056%	(13)
愛知県	87	208,948	0.042%	(25)	大分県	13	34,752	0.037%	(31)
三重県	15	51,570	0.029%	(39)	宮崎県	9	34,855	0.026%	(43)
富山県	23	34,706	0.066%	(7)	鹿児島県	11	49,970	0.022%	(45)
石川県	26	40,519	0.064%	(11)	沖縄県	15	47,168	0.032%	(35)
福井県	19	29,255	0.065%	(8)	合計	2,000	3,589,333	0.056%	-

新型コロナ関連の経営破たんは全国最小の4件

東京都との比較では、経営破綻が約10分の1

### 【参考】

東京商工リサーチ(R3.9.3時点)

R2.2月以降、新型コロナ関連の経営破たんが全国で累計2,000件  
業種別では、  
飲食業が最多で349件  
ホテル、旅館の宿泊業が93件  
飲食料品卸売業が91件

経済活動の持続に効果

※赤色の網掛けは緊急事態宣言、青色はまん延防止等重点措置(9月3日現在)

※件数は2000件時、企業数は経済センサス(2016年6月時点)より

## 認証施設での感染拡大防止事例

### コロナ感染者が認証施設を利用したが、GZ認証基準の遵守により感染拡大を防いだ事例

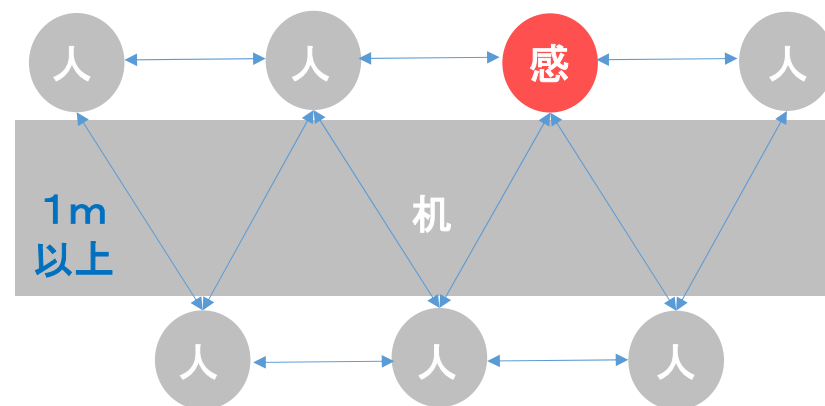
#### 事例①

場 所: 焼き肉店

利用者: 友人7名(うち、1名が感染者と判明)

結 果: 感染者以外の陰性を確認

基 準: 真正面での着座配置をしない。座席の間隔を最低1m確保できるよう配置する。



#### 事例②

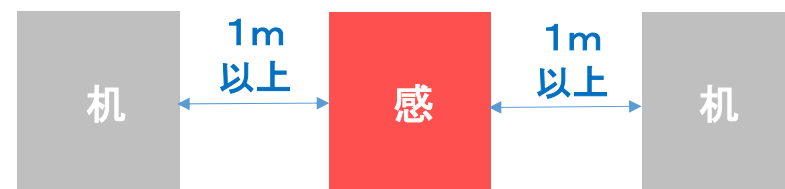
場 所: 複合商業施設内飲食店

利用者: 同時間帯150名

(うち、利用者1名が感染者と判明)

結 果: 濃厚接触者なし

基 準: 同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブルの間は、相互に対人距離が最低1m確保できるよう配置する。



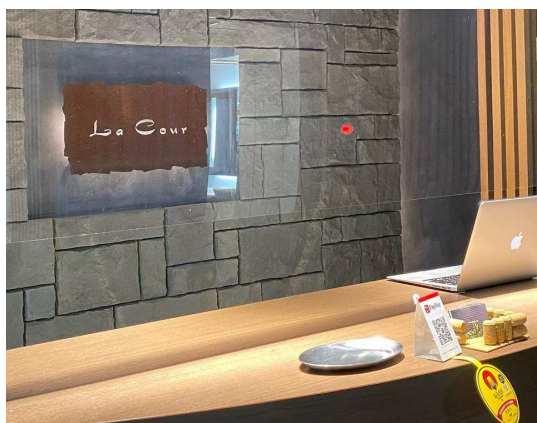
感染者が来ても、グループ内・他グループへの感染を防止

# 認証施設における感染症対策事例集

## グリーン・ゾーン認証施設 取り組み



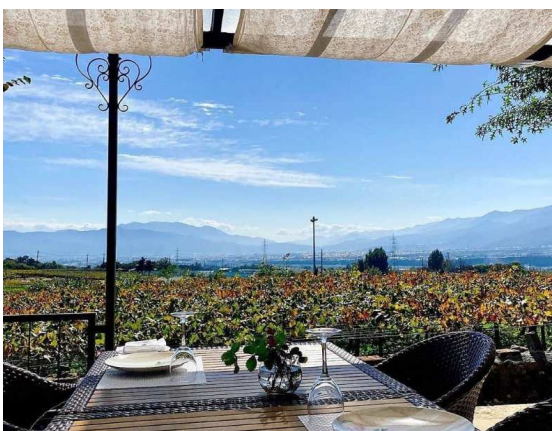
利用者への手指消毒の徹底



受付の遮断による接客



必要換気量の確保または窓開放



斜め着座による距離確保



アクリル板による飛沫の遮断



出勤時の従業員の検温

## 利用者だけでなく、お店や従業員を守る感染対策

## 令和2年度事業費概要

### 1 専門家委員会開催費 89千円

本県独自の感染症予防対策の基準策定のため、各種専門家から構成する審査会を開催

### 2 認証制度事務委託費 95,222千円

事業者からの新規・更新申請受付、書類のチェック、現地調査の実施、調査結果報告書の作成

### 3 専用HP構築費 13,484千円

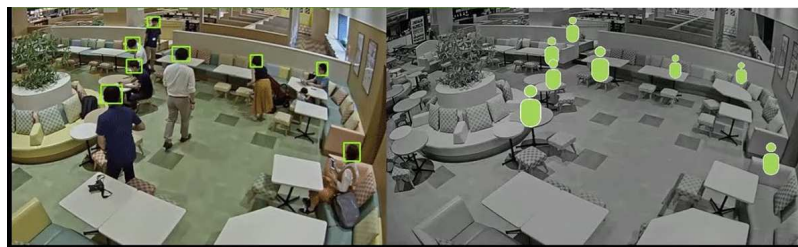
### 4 認証ステッカー作成費 908千円

**合計 109,703千円**

認証施設1件あたり約2万円の費用負担

# より質の高い感染症対策に向けて

最新技術を駆使して、より快適で持続可能な  
感染症対策を開発



〈光触媒コーティング〉  
清拭消毒を簡素化



〈AIカメラ〉  
混雑状況をスマホで確認



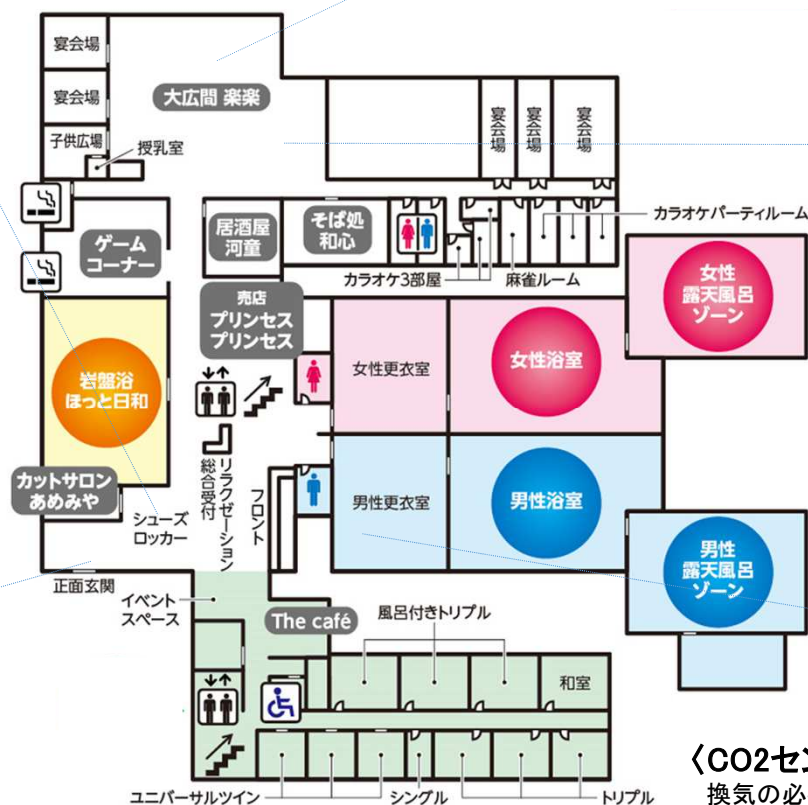
〈その他〉  
紫外線殺菌装置付きお掃除ロボット、  
パーティション越しの会話を円滑にする  
マイク・スピーカーを開発中

〈サーモカメラ〉  
体温とマスク着用をAIが検知！



発熱者  
体温  $\geq 37.3^{\circ}\text{C}$

平熱  
体温  $< 36.8^{\circ}\text{C}$



〈CO2センサー〉  
換気の必要性を見える化



## 実証事業により、山梨県からイノベーションを起こす

→ 次ページ(デジタルプラットフォーム)

# 感染症対策のデジタルプラットフォーム

## 1. 認証施設割合

業種	飲食業	割合	宿泊業	割合	合計	割合
認証施設数	2,026	68%	940	32%	2,966	100%

## 2. 感染症対策項目別割合 (重複回答有り)

No.		質問項目	飲食業 (A)	割合 (A/2,026)	宿泊業 (B)	割合 (B/940)	合計 (C)	割合 (C/2,966)	
1	入り口消毒	ポンプ式アルコール消毒液	1,348	67%	812	86%	2,160	73%	
		その他	818	40%	209	22%	1,027	35%	
2	フロント対策	足下シール	441	22%	312	33%	753	25%	
		注意喚起の表示	1,670	82%	694	74%	2,364	80%	
		その他 (口頭案内等)	329	16%	157	17%	486	16%	
3	支払い	キャッシュレス	1,159	57%	519	55%	1,678	57%	
		コイントレイ	1,934	95%	835	89%	2,769	93%	
		その他	149	7%	201	21%	350	12%	
4	客室備品	使い捨て	-	-	425	45%	425	45%	
		消毒を徹底	-	-	773	82%	773	82%	
		その他	-	-	84	9%	84	9%	
5	食堂・宴会場	グループ間	対人距離の確保	1,754	87%	727	77%	2,481	84%
			個室での対応	348	17%	90	10%	438	15%
		テーブル間の遮断	768	38%	139	15%	907	31%	
	グループ内	対人距離の確保	1,78	88%	724	77%	2,506	84%	
		テーブル上の遮断	84	42%	199	21%	1,042	35%	
その他	38	2%	33	4%	71	2%			
6	密集の防止	予約制	1,294	64%	450	48%	1,744	59%	
		滞在時間の制限	1,714	85%	541	58%	2,255	76%	
		その他	256	13%	223	24%	479	16%	
7	ビュッフェスタイルへの対応	利用者の取り分け時の対策徹底	28	1%	40	4%	68	2%	
		小皿に盛って提供	18	1%	23	2%	41	1%	
		従業員が取り分け	15	1%	24	3%	39	1%	
		その他	77	4%	13	1%	90	3%	
8	卓上の共用品	個別に提供	699	35%	253	27%	952	32%	
		入替時に消毒	1,268	63%	455	48%	1,723	58%	
		その他	293	14%	106	11%	399	13%	
9	換気	ビル管理法対象	法に基づく基準を満たしている	85	4%	48	5%	133	4%
			維持管理の徹底	15	1%	12	1%	27	1%
	ビル管理法対象外	必要換気量の確保	535	26%	65	7%	600	20%	
		窓の開放による換気	1,391	69%	815	87%	2,206	74%	
10	共有部分の消毒	消毒用エタノール	1,895	94%	866	92%	2,761	93%	
		次亜塩素酸ナトリウム	364	18%	231	25%	595	20%	
		界面活性剤含有の洗浄剤	92	5%	70	7%	162	5%	
		その他	5	0%	4	0%	9	0%	
		その他	11	1%	20	2%	31	1%	
11	早期把握の対策	接触通知アプリのルール化or奨励	1,365	67%	680	72%	2,045	69%	
その他	11	1%	20	2%	31	1%			

## 認証施設の感染症対策を把握

- 半数以上がキャッシュレス決済
- 客室備品8割が消毒を徹底  
使い捨ては約半数
- グループ間、距離の確保が8割
- グループ内、距離の確保が8割  
だが、飲食店ではテーブル上の遮断が4割
- 換気は、窓開放が7割
- 共用部分の消毒は、エタノール使用が9割
- COCOAは、7割の施設でルール化  
又は奨励

# 6,300施設もの感染症対策データをデジタルで保有



## グリーン・ゾーン認証業種の拡大

休業協力要請業種(7業種)をグリーン・ゾーン認証の対象へ(※)

### グリーン・ゾーン認証

飲食業、宿泊業、ワイナリー、酒蔵

### 認証手続き中

大規模集客施設、劇場等、集会・展示施設、

遊技施設、運動施設(屋内)

遊興施設、学習塾等

約1,500件

(※)山梨県では、休業協力要請をR3.2.12まで継続し、感染症対策のガイドラインを提出した施設を個別に解除する方法で運用を行っていた。

県全体を感染症に強い社会へ

## 変異株への対応

### 1. 基準の強化

R3.4月下旬以降、変異型について、先手対応、事前主義の考え方の下、施設側で即時に対応できるものから順次対策を強化。感染力が従来型より1.3倍程度強いとされることに着目し、飛沫・エアロゾル対策を中心に接触感染対策も追加。

### 2. 基準への追加項目

- 十字パーティション設置
- 二酸化炭素濃度測定器、HEPAフィルタ搭載空気清浄機の設置
- 席・トイレ入口へ消毒液設置
- 滞在時間の短縮(90分程度) → a~cをすべて実施した場合は不要
- 利用者把握のための「入店管理」

### 3. 新認証マークの作成

県民投票(投票総数1,455件)により、新認証マークを決定。上記の対策が取れた施設には、新認証マークを配付。追加的対策が実施された、より安心なお店としてアピール



## 強力な変異株に対応する基準へ強化

# LINEを活用した入店管理システム

## 【システム概要】

R3.4月末より実施していた「紙」による入店管理では、利用者・施設の双方から不安や負担の意見が届いた。そのため県では、(株)LINEと連携し、店舗等に掲示されたQRコードを読み取ることで、利用された施設等で感染拡大のおそれがある場合に、県LINE公式アカウントを通じ、LINEメッセージで注意喚起をするシステムを構築。R3.7月より運用を開始。

## (利用方法)

### ① 利用者によるQR読み取り



### ② 感染連鎖発生時の通知






万が一、感染連鎖が発生した場合でも、追跡が可能

# インバウンド再生に向けた取り組み

世界最大手OTAであるTrip.comグループ(中国)サイト内にてグリーン・ゾーン認証の掲載

## ○施設検索

👍 你可能对以下酒店感兴趣

	<p><b>斯奇泰酒店</b> ◆◆◆ Hotel Sekitei</p> <p>3.6 11条点评</p> <p>距市中心直线23.4公里 · 笛吹市</p> <p>防疫酒店 温泉汤池</p> <p>¥312 起 另付税/费¥31</p>
	<p><b>甲子园铭庭日式旅馆</b> ◆◆◆◆ Meitei No Yado Hotel Koshien</p> <p>4.0 10条点评</p> <p>距市中心直线23.4公里 · 笛吹市</p> <p>防疫酒店 日式旅馆</p> <p>¥1422 起 另付税/费¥298</p>
	<p><b>甲斐路传统日式旅馆</b> ◆◆◆ Kaiji</p> <p>3.2 10条点评</p> <p>距市中心直线24.6公里 · 笛吹市</p> <p>防疫酒店 日式旅馆</p> <p>¥411 起 另付税/费¥41</p>

GZ認証  
の目印

## ○施設内ページ① (中国語版認証マーク)



山梨Green Zone 认证设施  
Yamanashi Green Zone  
Official certification by Yamanashi Pref.

常盘酒店 Tokiwa Hotel 民宿 ◆◆◆◆ 防疫酒店

1980年开业 1992年装修 温泉 室外游泳池 室内游泳池 详情 >

## ○施設内ページ② (GZ認証の詳細)

### ★ 防疫酒店

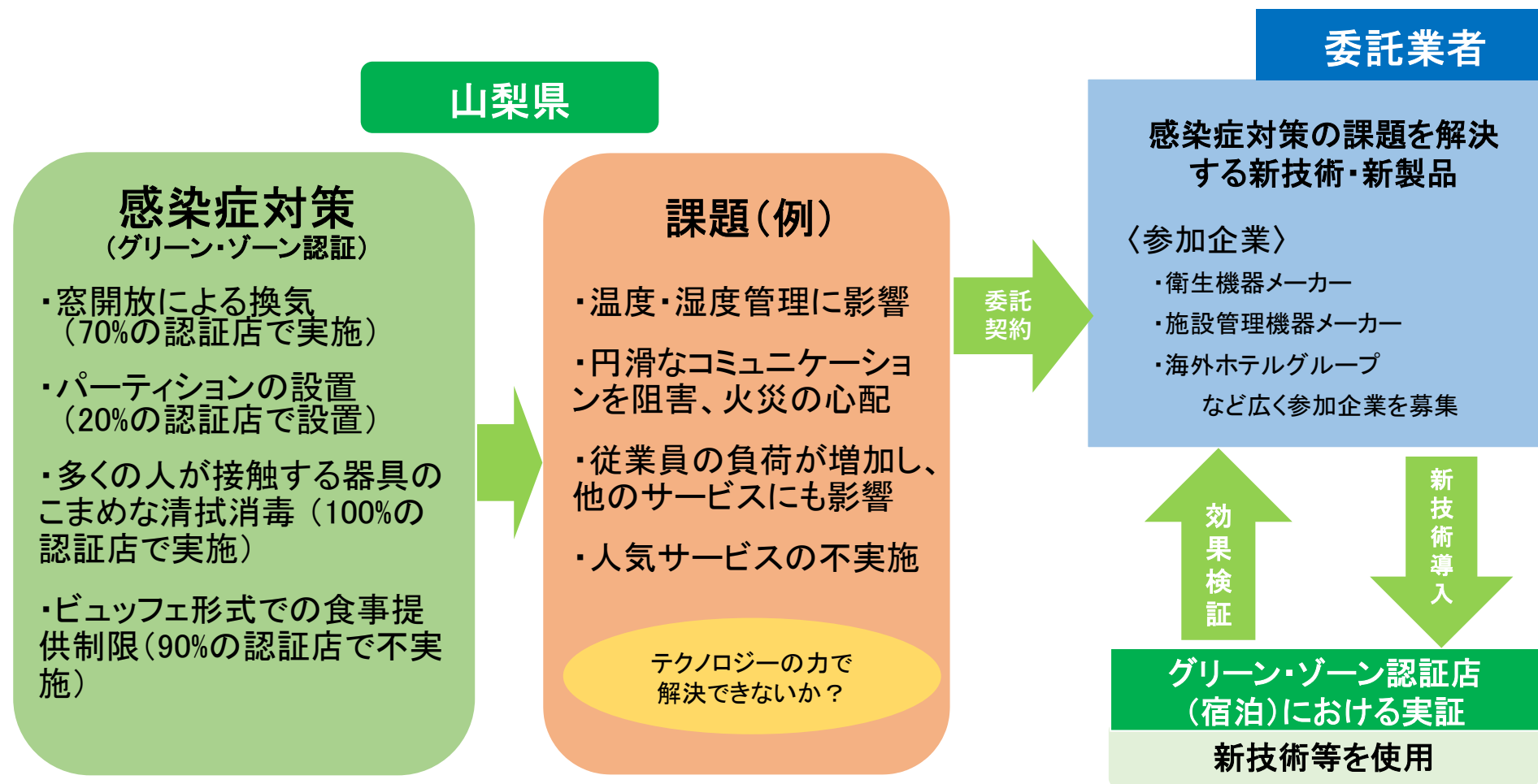
山梨县基于新冠疫情防范措施，制定了严格的应对准则。给予严格遵守并符合标准的酒店旅馆颁发“山梨Green Zone认证设施”，为游客提供旅途住宿中的安全保障。



感染症対策を新たな付加価値として、インバウンドに活用

## グリーン・ゾーン国際的評価基準構築実証事業

- 感染予防に優れた効果を実証された機器を認証基準に取り込み上位認証制度とする。
- 海外ホテルグループとも共同で研究し、国際的評価も高めていく。



GZ認証制度をグローバルなものに進化



**【問い合わせ】**

山梨県県民生活部グリーン・ゾーン推進課  
森田、小田切

TEL : 0 5 5 - 2 2 3 - 1 3 1 8

Email: [morita-ahcp@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:morita-ahcp@pref.yamanashi.lg.jp)

[otagiri-ambe@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:otagiri-ambe@pref.yamanashi.lg.jp)